

困難な時代。普通の人々が立ち上がる

私たちに出来ることを小さなことから始めよう
 こんにちは。いつもお祈りとご支援感謝致します。最近
 は本当に寒くなりました。岩手もいよいよ冬が始まろう
 としています。皆さんも風邪などお気をつけ下さい。

さて、世界は今激動の時代へと突入した気配を私は感
 じています。毎週ごとに悲しいニュースを聞くようになり
 ました。日本でもいつ同じような事件が起きても不思議
 ではないと思います。聖書には、終わり（困難）の時代
 が近い時に、災害や戦争が増えるを書いてありますが、ま
 さにそのような傾向を否定することは出来ない状況となっ
 ています。こんな時に私が考えることは「私たちに出来
 ることは一体何だろう」ということです。これは、何か特
 別な人だけが考えることではなく、私たち一般の普通の
 人々が考えるべきことだと思います。



◀キッズケ家の子ども達とフィリピ
 ンの子ども達へプレゼント作り

かみのおかづっ子新聞

No. 27

11月号

発行人

瀬 知行

2015年

12月2日発行

全3枚

私もいつも考えています。このグローバル社会において、日本と世界はもはや切り離すことはできません。世界で起きていることは、日本の問題であるという認識も必要なのです。最近、ノーベル平和賞を受賞したことで有名で、15歳でタリバンから撃たれ奇跡的に助かったパキスタンのマララさんの本を読みました。彼女はイスラム教徒ですが、彼女の本を読むとイスラム過激派に殺されているのは、クリスチャンだけではなく、イスラム教徒もたくさん殺されていることを知りました。そして印象に残ったのは、マララさんは兄弟ゲンカもするし、見た目も気にするし、どこにでもいる普通の女の子であるということでした。ただ、彼女が他の人と違うところがあるとするなら、パキスタンで起きていること、世界で起きていることに興味を持って、自分に出来ることをする、声を上げるなどの行動する勇氣を持っているということです。ここ大船渡にも、世界のために自分に出来ることをする子ども達（上の写真）がいます。私は、彼らをととても尊敬しています。なぜなら、震災で多くの支援を受けた彼らはそれだけで留まらず、喜んで聖書のいう所の「与える側」として行動するからです。今回も2年連続で自分のお小遣いから、喜んで心を込めて真剣に悩んでフィリピンの子供達に届けるおもちゃを買い、手紙を英語で書いて箱詰めしました。この写真も手紙に添えました。中には生まれて初めて英語を書いた子もいました。ただただ感動しました。

JCMN サミット 2015 が開催されました！ユースの部も盛り上がった！



「主の弟子を育てよう」というテーマで10月12-14日に JCMN サミット 2015 が行なわれました。今回私は、ユース（若者）の部を担当し、弟子を育てる現場の実際的なことなどを参加者と分かち合いました。今年3月に行われた YDS (Youth Disiplers summit) から良い流れが出来ており、参加者も弟子として生きることや、人を育てることに関心が強くなっていると感じました。このサミットで印象的だったことは、ある海外の映像でした。それは今年の1月にローマ法皇がフィリピンを訪問した際に、アイリスという12歳の少女が行ったスピーチでした。彼女が泣きながら話した「どうして何も悪いことしていないのに、こんなに苦しいこと（貧困・虐待など）が起きるの？どうして、少しの人しか私たちを助けてくれないの？」という言葉が私の心に刺さりました。本当は、助けに行ける可能性がある人が日本にはたくさんいるはずだけど、私たちは“本当に”何も出来ないのでしょうか？このサミットでは長期の海外宣教のために出て行きたいと考えている人が何人かいて、私も長期宣教師になりたいので、すごく励まされました。日本人の持つパスポートは世界最強と言われ、どの国でも行けます。日本にいる私たちにしか出来ないことがあるのだと私は信じています。世界の子ども達を助けるのは、誰かではなく「私たち」。いつかではなく、「今日から」だと考えています。

ワトトコンサートが無事に終わりました。



アフリカ・ウガンダのエイズ孤児や戦争孤児を、「救出し、リーダーとして育て、国を建て上げる」というビジョンを持ったワトト（詳細は、「ワトト ジャパン」で検索！）が10月に岩手県陸前高田市と山田町で私たちの NPO 団体の国際交流事業としてコンサートを開催しました。どちらも会場も満員で2会場合計300名以上の方が来ていただきました。私自身も、ワトトにいる親と暮らす事の出来ない2歳の男の子の定期的に支援していくことを決めました。まるで自分がお父さんになった気分です。来年は山口を含む西日本にもコンサートツアー行くそうです。要チェックですよ！

私たちの開拓教会である「One Love Disciplers」が一周年！おめでとう！

去年の11月に One Love Disciplers(以下、OLD)という教会をスタートし、今年11月に一周年を迎え「1 year OLD」という事で、みんなで祝いしました。震災のあった2011年から岩手沿岸の状況は大きく変わっており、数ヶ月単位で変わる街のニーズに自分たちの働きを適応してきた4年間でした。昨年からは、岩手県内の3つの市町から JCCMN チームが一致し、1つの教会をスタートさせました。現在全員で20名程度の集まりですが、地元の方も3分の1参加されています。この地域での宣教の働きは都市部に比べると、本当にゆっくりだと思います。まるで、硬い岩に釘を打ち込むような宣教です。しかし、それは悪いことだけではなく、どんな嵐や大水にも負けない強い「信仰の土台」を持ったイエスの弟子がこの岩手から起こされると私は期待しています。

私たちの大船渡のセル(スモールグループ)は今年の秋から増殖し、私もセルリーダーになりました。セルリーダーの働きは、牧会的な働きです。私自身、セルリーダーの経験はありませんが、周りに助けられながら毎週4~5人の友達との集まりをリードしています。最近私たちのセルはフードコートでアウトリーチをしたり、一緒に短期宣教の話をしたりなど、内向きな話だけではなく、積極的に外向きな考え方をもち、地域や世界へ出て行こうと実践しています。



主な活動報告	10月12~14日	JCMN サミット (大阪)	今後の活動予定	12月13日	OLD クリスマスパーティ
	10月18~19日	WATOTO コンサート (岩手)		12月27日	キッズケ家クリスマスパーティ
	10月末	沖縄ツアー (沖縄)		1月中旬	ミッショナリーカンファレンス (香港)
	11月29日	第4回 Wing (釜石)		1月16~17日	赤磐教会訪問 (岡山)

祈りの課題

- ・ 1周年を迎え、もっと地域に根ざした教会を目指す、OLDの方針を現在祈り検討しています。神の御心にあった方針に導かれていくように、岩手の地で世の光となるようにお祈りください。
- ・ 私のセルリーダーの働きのためにお祈りください。謙遜さと神の知恵でリードできるように。
- ・ このクリスマスの時に、岩手沿岸の方々がイエスさまの愛と救いの物語に出会えるようにお祈りください。また今年の冬は寒いので岩手の住む方々の健康のためにもお祈りください。

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 26歳 国内宣教師&保育士

瀬知行を支える会の住所：山口県山口市大内長野 633-1

ブログ：「ともだちだよブログ」<http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>

支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられております。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号：01350-2-99626 名義：瀬知行を支える会

他行からの振込 店名(店番) 一三九(イチサンキュウ) (139)

預金種目：当座 口座番号：0099626「瀬知行を支える会」

郵貯振替口座番号：01350-2-99626 名義「瀬知行を支える会」

楽しかった沖縄旅行



10月下旬にお暇をいただいて、沖縄旅行に行ってきました。沖縄は大学時代に過ごした場所でもあり、友達も多く、「人に会う」か「寝る」という過密スケジュールを組んでしまいましたが、全ての再会が素晴らしかったです。写真は、宮古島でお世話になった瑞慶山ファミリーとの1枚！大好き！